

みしま 市議会だより

No.189

2020 8.1

今回の
定例会

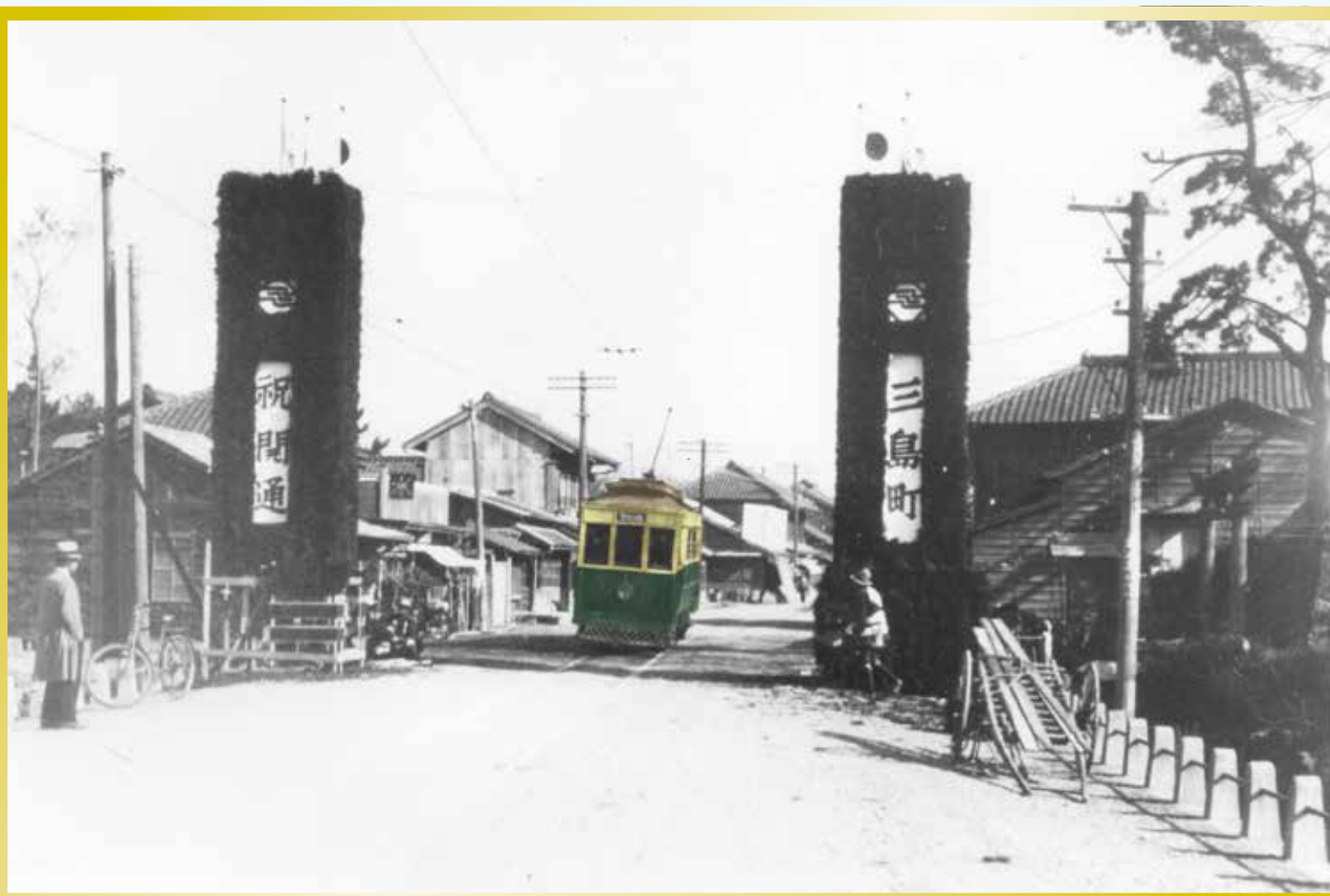
11月

2月

6月

9月

主に6月定例会の
情報をお伝えます。



三島の昔の風景「ここはどこでしょう？」
…答えは12ページをご覧ください

CONTENTS


新しい体制が決まりました	2
議案審議の概要	4
市政に対する一般質問	7
9月定例会のお知らせほか	12

本会議・委員会とは？

<本会議>
 全議員で構成され、議会の意思を決定する最も重要な会議です。本会議には、定期的に行われる「定例会（年4回）」と、必要に応じて特定の案件を審議するため開かれる「臨時会」があります。

本会議では、提出された議案についての説明を受け、議員が質疑や意見を述べて賛成・反対を明らかにします。また、議案とは関係なく市政全般についての所信を問うことを一般質問といい、定例会に限り行われます。

<委員会>
 市の行政は広範多岐にわたっており、内容も専門化しているため、能率的かつ専門的に審査するために委員会を設置しています。三島市議会には、3つの常任委員会があり、議員は必ずどれか1つの常任委員会に所属しています。そのほかに、議会を円滑に運営するための議会運営委員会、特に集中して審査する場合などに臨時的に設置される特別委員会があります。

 委員会の活動はいつ行われるの？

定例会の期間中に予算や決算などの議案の審査を行うほか、定例会が閉会している間も、担当する分野のさまざまな調査研究を行っています。ほかの都市の先進的な取り組みを視察することもあります。



5月臨時会

三島市議会の新しい体制が決まりました

7月22日現在

5月15日の臨時会において、野村諒子副議長が辞職したことに伴い、副議長選挙が行われ、堀江和雄議員が第74代副議長に就任しました。

議長は引き続き大房正治議員です。

また、常任委員会委員の選任などのほか、1件の条例の一部改正について審議が行われ、3件の専決処分の報告を受けて承認しました。



第74代副議長 堀江 和雄
 第69代議長 大房 正治

議会運営委員会

円滑で効率的な議会運営をするために設けられています。

議会運営委員会では、議会の会期および日程、特別委員会の設置、議案および請願・陳情の取り扱い、議会関係規則の取り扱いなどについて協議します。

- 委員長 土屋 利絵
 副委員長 川原 章寛
 委員 松田 吉嗣
 中村 仁
 杉澤 正人
 鈴木 文子
 服部 正平

総務委員会

行政の総合的な企画・管理・広報や、財政・税務などの事務について審査します。

委員長 藤江 康儀 (改革みしま)

①妻とウォーキング
 ②仲間とコミュニケーション

副委員長 古長谷 稔 (新国会)

①早朝の三島を散歩
 ②川、花、鳥、富士山との静かな対話

常任委員会の委員を紹介します

各常任委員会に所属する議員の紹介と併せて、各議員に対し一言アンケートを実施しました。

【掲載項目】
 ①健康に気を付けていること
 ②楽しみ

沈 久美 (新国会)

①感謝の訓練と食養生
 ②やる気と笑顔と慈愛にふれること

服部 正平 (日本共産党議員団)

①偏食せず、朝1杯の豆乳は最高！
 ②旅先での出会いと発見

中村 仁 (緑水会)

①手洗い・うがい・マスク着用
 ②子どもの成長・家族の時間

松田 吉嗣 (緑水会)

①暴飲暴食に気を付けている
 ②晩酌・ゴルフ

堀江 和雄 (公明)

①週末に娘と卓球
 ②読書と音楽を聴くこと

宮下 知朗 (新未来 21)

①妻と喧嘩しないこと
 ②愛娘・愛息の成長、テニス

福祉教育委員会

福祉や子育て、学校・幼稚園から生涯学習・スポーツなどの教育に関する事務について審査します。

委員長 大石 一太郎 (新国会)

①食生活と定期検診
 ②自然散策と経済・歴史小説の時間

土屋 利絵 (改革みしま)

①ひとりの時間をもつこと
 ②犬猫とのスキンシップ

鈴木 文子 (公明)

①減塩食・笑顔・運動
 ②孫の成長・美術館巡り

河野 月江 (日本共産党議員団)

①よく笑うこと
 ②日常のちょっとした感動に出会うこと

佐藤 寛文 (無党派)

①毎日運動する
 ②毎日アイスを食べる

岡田 美喜子 (新未来 21)

①毎朝フルーツ入りヨーグルトを食べる
 ②海外ドラマ

大房 正治 (緑水会)

①手洗い・うがい
 ②ゴルフ

経済建設委員会

農政・商工・観光・文化および土木・建設・都市計画や上下水道などの事務について審査します。

佐野 淳祥 (緑水会)

①野菜を多く食す・筋トレ
 ②トランペット演奏

石井 真人 (新国会)

①早朝のラジオ体操
 ②記録映画「わが街三島」の鑑賞

杉澤 正人 (新国会)

①心の健康が第一
 ②デール・ワッサーマンの戯曲が最高

委員長 村田 耕一 (公明)

①運動・クロスバイクで走る
 ②ハリウッド映画を観る

副委員長 甲斐 幸博 (緑水会)

①身体を鍛えること(空手など)
 ②家族団らん。特に孫と遊ぶとき

野村 諒子 (緑水会)

①新鮮な野菜中心の食事
 ②風景の中に四季を感じることに

川原 章寛 (新未来 21)

①毎日1万歩以上歩く！
 ②お風呂上がりのビール



令和2年 6月定例会

6月9日～6月24日
会期：16日間

■今回の議案は…

市長提出議案17件
議会提出議案1件

Pick up 1
一般会計予算
を増額補正

新型コロナウイルス

早急な経済支援を

◆新型コロナウイルス感染症対策として、国の補助金である「地方創生臨時交付金」が創設されました。

この交付金は、地方公共団体が地域の実情に応じて、感染拡大の防止とともに、感染拡大の影響を受けている地域経済や、住民生活を支援して、地方創生を図るために創設されたものです。交付金の対象事業の増額補正を行います。

中小企業者応援補助金
2億5千万円

新型コロナウイルス感染症の拡大により、特に影響を受けている

事業者に対して支給される、国の持続化給付金の対象にはならないものの、一定以上の影響を受けた市内の中小企業者に対し、事業の継続を支えるために交付するものです。

主な質疑

質疑 目的と対象は

答弁 国の持続化給付金の給付対象が前年の売上高と比べて50%以上の減少としているため、その対象とならない、売上高が30%以上50%未満減少した事業者を対象としており、事業の下支えをするこ

この号では次の項目を
Pick up!

Pick up 1
(議第46号)

【令和2年度三島市一般会計補正予算(第4号)】(全会一致)

■補正予算額
3億6,299万6,000円
(議第62号)

【令和2年度三島市一般会計補正予算(第5号)】(全会一致)

■補正予算額
2億4,750万円

Pick up 2
(発議第2号)

「再審法(刑事訴訟法の再審規定)」の改定を求める意見書

すべての議案と結果などの詳細は、三島市議会ホームページをご覧ください。



る外出自粛の影響を受けた市内経済を活性化するため、プレミアム付商品券発行事業を実施します。

主な質疑

質疑 商品券の販売時期および利用可能期間は

答弁 三島商工会議所と連携を図りながら詳細について制度設計を進めるが、10月初旬の販売開始を想定している。

また、利用可能期間については、新型コロナウイルス感染症の第2波、第3波が懸念される中での実施となるため、利用可能期間に最大限の余裕を持たせ、5カ月程度を予定している。

質疑 販売方法と買い占め防止対策は

答弁 平成27年度の同種事業の反省を踏まえ、先着順ではなく郵送、またはWEBによる事前申込制とする予定。コロナ禍での販売という状況に配慮し、感染拡大につながるらないよう、3密対策を第一に考慮している。事前申込制にすることで、市民への限定販売が可能となり、購入上限数を設けることで、買い占め防止へつながらと考

金の申請が急増していることから、必要経費を追加します。

主な質疑

質疑 申請から支給までの期間は

答弁 申請日の属する月に支払う家賃相当分から支給を開始することとなっており、1カ月以内には支給されることになる。また、申請日の属する家賃の支払いに間に合うよう申請手続きの支援も行っている。



生活困窮者自立支援事業
3838万6千円

休業や離職等による収入減少により、家賃の支払いに困窮している方や、住居を喪失する恐れがある方を対象とする、住居確保給付

Pick up 2

意見書を提出しました

「再審法(刑事訴訟法の再審規定)」の改定を求める意見書を可決し、国および関係機関へ提出しました。

監査委員の選任
議会から松田吉嗣議員を選任することに同意しました。

人事議案

【三島市外4組合公平委員会委員】

【三島市農業委員会委員】

- | | | |
|------------|--------|--------|
| ひろせ かつまさ氏 | 三浦 正康氏 | 岩崎 哲郎氏 |
| 廣瀬 和正氏 | 三浦 正康氏 | |
| たかはし ひろゆき氏 | 神山 衛憲氏 | |
| 高橋 博幸氏 | 神山 衛憲氏 | |
| さとう みさお氏 | 高橋 徹司氏 | |
| 佐藤 操氏 | 高橋 徹司氏 | |
| やまだ たかおみ氏 | 細井 憲子氏 | |
| 山田 貴臣氏 | 細井 憲子氏 | |
| もちづき まさみ氏 | 山田 隆志氏 | |
| 望月 正己氏 | 山田 隆志氏 | |
| いちかわ たろう氏 | 瀬川 稔氏 | |
| 市川 保氏 | 瀬川 稔氏 | |
| やまもと かづよし氏 | 梶 公彦氏 | |
| 山本 一喜氏 | 梶 公彦氏 | |

令和2年 4月臨時会 4月30日

〈議第43号〉
令和2年度三島市一般会計補正予算(第2号)
(全会一致)
■補正予算額
3億7,000万円

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対象事業店舗の休業等に協力いただいた事業主に対する協力金給付事業や、ひとり親家庭への支援として、児童扶養手当臨時特別給付金給付事業等の予算の増額補正についての審議を行い、全会一致で可決しました。

令和2年 5月臨時会 5月15日

〈承第3号〉
令和2年度三島市一般会計補正予算(第3号)
(全会一致)
■補正予算額
111億6,000万円

新しい常任委員会の委員の選任などを行いました。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大により、落ち込んだ家計への支援策として、特別定額給付金給付事業等を行うため、必要経費に係る補正予算の専決処分を承認しました。

一般質問

4月臨時会 議決結果

議案番号	件名	結果
承第1号	専決処分の報告及び承認について（三島市国民健康保険条例の一部を改正する条例）	承認
承第2号	専決処分の報告及び承認について（令和2年度三島市一般会計補正予算（第1号））	承認
議第43号	令和2年度三島市一般会計補正予算（第2号）	可決
議第44号	三島市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	可決

5月臨時会 議決結果

議案番号	件名	結果
承第3号	専決処分の報告及び承認について（令和2年度三島市一般会計補正予算（第3号））	承認
承第4号	専決処分の報告及び承認について（令和2年度三島市国民健康保険特別会計補正予算（第1号））	承認
承第5号	専決処分の報告及び承認について（三島市国民健康保険条例の一部を改正する条例）	承認
議第45号	三島市税賦課徴収条例の一部を改正する条例	可決

6月定例会 議決結果

議案番号	件名	結果
議第46号	令和2年度三島市一般会計補正予算（第4号）	可決
議第47号	令和2年度三島市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決
議第48号	物品購入契約の締結について（消防ポンプ自動車）	可決
議第51号	三島市介護保険条例の一部を改正する条例	可決
議第52号	三島市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例	可決
議第53号	三島市都市計画税条例の一部を改正する条例	可決
議第54号	三島市国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決
議第55号	三島市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決
議第56号	三島市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決
議第57号	三島市水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	可決
議第58号	三島市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	可決
議第59号	三島市監査委員の選任について	同意
議第60号	三島市外4組合公平委員会委員の選任について	同意
議第61号	三島市農業委員会委員の任命について	同意
議第62号	令和2年度三島市一般会計補正予算（第5号）	可決
発議第2号	「再審法（刑事訴訟法の再審規定）」の改定を求める意見書	可決

〈賛否が分かれた議案〉

議案番号	件名	結果	緑水会			新政会			新未来21		公明		改革みしま		フォーラム三島		日本共産党議員団									
			松田吉嗣	大房正治	中村仁	佐野淳祥	甲斐幸博	杉澤正人	大石一太郎	古長谷稔	沈久美	石井真人	川原章寛	岡田美喜子	宮下知朗	鈴木文子	堀江和雄	村田耕一	土屋利絵	藤江康儀	佐藤寛文	野村諒子	服部正平	河野月江		
議第49号	三島市特別職の職員の給与の特例に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
議第50号	三島市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件の特例に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

※ ○：賛成 ×：反対 ※ 議長は表決に参加しないため、表決結果は斜線になっています。

このページ以降の会派名は、6月定例会時点の所属会派となります。 議案の詳細はこちら



佐藤 寛文
(フォーラム三島)



新型コロナウイルス感染症による本市への影響と対策

Q コロナの影響による経済活動の停滞で、三島の今年度および令和3年度の税収は、どの程度の減収になると想定しているのか伺う。

A 市税の現年課税分について、令和2年度は、法人市民税等の減収や、徴収猶予の増加が見込まれ、当初予算額に対し6億円程度の減収を想定している。令和3年度は、不確定要素が多い中での推計で、令和2年度の当初予算額に対し16億円程度の減収と見込んでいる。

Q 災害時に市民の皆さんが安心して避難できるように、各避難所の収容状況をリアルタイムで情報提供するべきではないか。

A 令和2年度から導入した避難所運営支援システムにより、災害対策本部に集まった避難所からのデータを簡単に集約できるようになった。市民の皆さんが避難所の状況を避難前に確認できるように、ホームページやSNSなどを通じて情報提供していく。



他の質問事項

感染症に対応した避難所運営について



佐野 淳祥
(緑水会)



中学吹奏楽部の大会や活動の早期正常化へ

Q 管楽器は飛沫拡散のイメージがあるが、検証実験などでは、その心配は少ない。生徒たちが満足に活動できるように、対策を伺う。

A 現在は、個人練習やパート練習など、感染症リスクの低い活動を中心に行っている。今後は、地域の感染状況や生徒の練習状況を考慮した上で、各部活動の意義や目的に照らして、試合形式の練習や合奏練習など段階的に実施していく。



活動困難な市内美術家や音楽家等への支援を

Q 文化芸術を鑑賞・創作・参加する市民は7割強けん引役である芸術家は、活動自粛で大幅な収入減に直面しているが、対策を伺う。

A 三島市中小企業者等応援補助金を新設する。対象事業者については、事業を行っている個人も含むことも想定しているため、美術家・音楽家等で該当となる方は申請していただきたい。また、文化芸術利用団体等から活動成果の動画を募集して発信していく予定である。

他の質問事項

難聴児・者へ文化会館利用の新たな対応とは



石井 真人
(新政会)



広域健康医療拠点・駅前再開発のコンセプト

Q 第2波への医療体制の不安も残ることから、広域健康医療拠点というコンセプトを見直すために、都市計画決定を遅らせてはどうか。

A コロナウイルス感染症による影響に関わらず、交通便利性の高い駅周辺に健康・医療機能を有する複合施設を整備することの重要性は今後も大きく変わらなないと考えている。事業化の好機を逃さないよう、市民の意見を伺いつつ、事業関係者との協議を行っていく。



密集密閉型・駅前再開発の事業計画の見直し

Q 静岡市等では既存事業を延期しコロナ対策に注力する中、コロナ前の密集・密閉型再開発の事業計画を変更せずに進める理由を伺う。

A 短期的なコロナウイルス対策と並行し、中・長期的な展望で持続的な発展に向けて取り組んでいくことが重要である。さまざまな事業の中でも、三島駅前再開発は最優先で取り組むべき事業であり、事業計画に修正を加えつつ、関係者の力を合わせ事業を進めていく。

他の質問事項

スーパーシティ構想に応募する予定はあるか



河野 月江
(日本共産党議員団)



再開後の学校で子どもと教員を支える施策を

児童生徒への心のケアや、学びを保障する手厚く柔軟な教育と指導が必要だが、小学校全学年に学習支援員を配置できないか伺う。

県の通知による「新型コロナウイルス対策による補習等支援事業に係る学習支援員を各小中学校に1人配置」はほぼ完了しているが、市として全学年への支援員配置は難しい。今後も地域学校協働本部など地域の皆さまのご協力をいただきながら、学校の支援に努めていく。



生活困窮者に寄り添った生活保護行政を

コロナ禍のもと、就労や保有資産等に関する保護受給要件が国により緩和されているが、相談者への対応時に徹底されているか伺う。

国や県からの通知等は、内容を確実に把握の上、実務に取り組んでいる。通知の内容については、三島市社会福祉協議会および三島市生活支援センターと情報を共有し、連携して生活に困窮している方への支援に取り組んでいる。



岡田 美喜子
(新未来21)



高齢者の新しい生活様式における熱中症対策

コロナ禍における高齢者のフレイル悪化が心配される。今夏は感染予防をしながら熱中症対策が求められるが、取り組みを伺う。

新しい生活様式における熱中症予防行動のポイントについて地域の居場所等に周知するとともに、「シニア版コロナに勝とうポイントカード」を65歳以上の方全員に配布する際にも、熱中症予防を呼びかけていく。また、地域の医師を講師に迎え講演会も実施する。

バリアフリーとユニバーサルデザインの推進

安全で快適な社会生活を送れるよう、市民文化会館玄関前の階段に、手すりの増設や障がい者のための点字誘導案内を設置できないか。

市民文化会館玄関前の階段は、幅が広く延長が長い階段のため、施設利用者に配慮し、今回の大規模改修工事で階段の両端部床面から65cmと85cmの2種類の高さの手すりを設置する。また手すりには、視覚障がい者に配慮した点字の誘導案内を併せて設置する。



沈 久美
(新国会)



休校中に使用されなかった給食用食材の対応

コロナ休校中の給食停止は一人当たり約40食に及んだが、使用予定であった食材等はどのように扱われたのか。

3月はおおむねキャンセルができ、保存が可能な調味料等は給食再開後に使用している。4、5月は事前に発注を控えるなど対策を講じたため、食材の無駄は発生しなかった。なお、該当する事業者には国の補助金を活用し、支援する手続を行っている。



再休校時の給食や代替食提供に関する見解は

給食停止中も子どもの食や家計負担は考慮されるべきと考える。他市町では弁当配布や持ち帰り給食の事例があった。再休校時の対応を伺う。

学校における弁当の配布などは衛生面や人員の課題から、現在対応を考へてはいない。また、給食に近い食事などの提供も感染症対策を考慮すると難しい。再休校時には状況に応じて登校の方法を工夫しながら、できる限り給食提供に努めていきたいと考えている。

他の質問事項

学校給食公会計の利点と公会計化への進捗は



野村 諒子
(フォーラム三島)



新型コロナウイルス感染症防止対策の取り組み

今後も感染者が出てくる可能性があることから、医師会等と連携し検査体制を整えるなど、三島市としての取り組みについて伺う。

感染拡大を抑えながら社会経済活動を継続していくことが課題である。新しい生活様式の普及啓発に一層努め、PCR検査については、三島市医師会のご協力のもと、県や保健所と協議を行い、地域外来・検査センターの設置を検討しているところである。

新しい働き方をまちづくりにも生かすために

テレワークなど勤務形態が変わり、地方都市の魅力が再認識される中、三島市が選ばれる取り組みができるか。

本市に住む魅力について一層のPRに努め、オンライン移住相談やテレワークの推進、サテライトオフィスの整備、優れた子育て支援策の情報発信の強化、行政サービスのオンライン化を進め、若い世代に移住先として選んでもらえるよう取り組んでいく。



古長谷 稔
(新国会)



コロナ対策と防災行動との整合性

コロナ感染拡大防止を踏まえた水害時・地震時の避難所開設について、教室等への垂直避難の考えも含め、当市の今後の方針を伺う。

風水害時に避難者数が増加した場合には「密」を避けるため、速やかに校舎を開放して垂直避難を行う。地震時の避難については長期化が予想され、校舎の使用は授業再開に支障が出るため、学校側と相談した上で、使用期間や範囲などを決定する。



下水道広域化、可能性調査の結果を受けて

経済面、技術面、持続可能性等について5つの案で可能性を調査した結果、事業費や三島市の負担見込額等、わかったことは何か。

今回の調査結果では、将来、長伏浄化センターを建て替える案が最も安価となったが、今後、さらに、超長期の汚水量および処理単価推移予測や市の下水道事業会計への影響、施設の耐震化などを踏まえた詳細な調査を進め、方針を確定していきたい。



甲斐 幸博
(緑水会)



PCR検査センターの設置を

第2波、第3波を考え、疑いのある方がすぐに検査できるよう、「PCR検査センター」の設置が必要と考えるがどうか。

予想される感染拡大に備えて、県・東部保健所・三島市医師会・市による意見交換や協議を行った。協議を受け、三島市医師会から具体的な提案をいただき、市民の皆さまの安心につながるよう、市内に検査センターを設置することについて、検討・協議を進めている。

子どもの学習保障について

コロナの影響により、子どもたちは想像以上に心の負担やストレスを感じていると考えられるが、心のケアなどの対策を伺う。

学級担任やスクールカウンセラーとの面談や養護教諭等を中心としたきめ細かな健康観察や健康相談を実施している。今後も、児童生徒のストレス等の把握に努め、保護者や関係機関等と連携の上、心身の健康に適切に対応できるよう、各校を支援していく。





服部 正平
(日本共産党議員団)



「新生活様式」が当市事業計画に与える影響と対策

Q にぎわいの創出を目的とする「観光誘客」は、新生活様式と相反する事業ではないか。見解を伺う。

A 観光振興も含めた外出自粛の緩和に伴う段階的な経済活動の再開に向け、近隣市町から本市に来訪される方々の安心感の醸成を図ることを目的に、三島市観光協会と連携し、観光施設等における感染防止対策の取り組みをPRしていきたいと考えている。



Q インバウンドや再開発事業調査等の事業より、市民の暮らしの応援を優先すべきと考えるが、どのように予算配分を行うのか。

A 歳入減が見込まれる中、予算が配当されている事業についても、その有効性を再度精査し、執行停止や減額を行っていくが、コロナ対策関連事業や、市民生活の向上、将来の発展につながる必要不可欠な事業については、引き続き執行していく予定である。

他の質問事項

弱まる地域の絆を取り戻す施策について



土屋 利絵
(改革みしま)



オンラインを活用した不登校対策

Q 一人一台タブレットを支給し、学校に行くことが難しい子どもたちが安心して授業が受けられる環境を整備できないか伺う。

A 互いの表情を見ながら、会話をしたり学習したりすることができるオンライン授業は、子どもの変化にも気付くことができ、精神的なケアにもつながると考えている。一人一人のニーズに応じて、オンラインで必要な支援ができるよう、引き続き研究を進めていく。



高齢者の方々へのオンラインのシステム導入

Q 一人暮らしの高齢者の方々にオンラインによるコミュニケーションツールを学んでいただくため、どのような取り組みができるか。

A 地域サロンや通いの場の代表者を対象にZOOMの体験会を実施する。また、シニア向け運動教室にもZOOMによる教室を導入していく。さらに、静岡県が実施する「オンライン通いの場モデル事業」に選出されおり、タブレットを通じた運動指導を配信していく。

他の質問事項

夏に向けた水害対策について



宮下 知朗
(新未来21)



プレミアム付商品券発行など今後の支援対策

Q 地方消費の喚起・下支えと停滞する社会経済活動の引き上げを目的に、国の交付金を活用した今後の支援対策実施の可能性を伺う。

A 新しい生活様式を前提に市域経済の好循環を促す対策として、プレミアム付商品券の発行について準備を進めているところである。販売額としては8億円分、プレミアム分は20%等となっており、本会期中に補正予算の議案として上程させていただく予定である。

コロナ禍における小中学校の熱中症対策

Q 夏季休業期間の23日間短縮やマスクを着用した学校生活により、例年以上に熱中症に対する注意が必要と考えるが、その対策を伺う。

A 熱中症の恐れがある場合には、マスクを外すよう児童生徒に指導している。また、低学年児童が着用しているヘルメットについても、家庭の判断で帽子などに代えてもよいこととしている。さらに、これまで以上に、こまめな水分補給等も行うよう指導していく。



他の質問事項

地方分散化の動きに連動した企業誘致の強化



村田 耕一
(公明)



妊婦の皆さんに応援給付金を支給できないか

Q コロナ禍で支援を受けられず心理的負担も大きい状況を受け、お子さんとお母さんのために妊婦応援給付金を支給できないか。

A 厳しい環境の変化の中で多くの不安を抱え、緊張を強いられていた妊婦の皆さまが、少しでも穏やかに過ごしていただき、安心して出産を迎えられるよう、激励の意味も込め、出産支援金もしくは出産応援金を給付するスキームを検討している。



避難所指定の自治会集会所のコロナ対策

Q 24の学校の指定避難所には衛生用品が配備されるが、その他に避難場所として指定されている自治会集会所にも配備できないか。

A 指定緊急避難場所に指定されている自治会の集会所などにもマスク、アルコール消毒剤等を配布する。また、これ以外にも、災害時の新型コロナウイルス感染症対策のために自主防災組織が非接触型体温計等を購入する場合は、防災活動事業費補助金の対象とする。



杉澤 正人
(新政会)



再開発における社会資本整備総合交付金申請

Q 事前評価チェックシートの「円滑な事業執行の環境」項目にある「事業熟度」とは、どのような状況か。

A 準備組合・事業協力者・市で締結した事業協力協定により、事業成立に不可欠な保留床処分が立っていることや、基礎調査等の資金が確保でき、事業採算性に裏付がある検討を行っている点、都市計画決定・変更の手続きに取り掛かる段階にある点と考



Q 「住民の合意形成を踏まえた事業実施の確実性」に〇(マル)をつけているが、どのような判断からそのように判定したのか。

A 事業実施には施行地区の権利者の合意が必要不可欠であるが、関係する土地・建物所有者全員が準備組合に加入し、現行の事業内容等にご理解いただいている。なお、当該事業は公有地が多いため、広く市民の皆さまにも喜んでいただける事業となるよう努めていく。

他の質問事項

地元の機運の「地元」は市民が地権者か



大石 一太郎
(新政会)



少子高齢社会に向けた計画策定と政策運営を

Q 政策全般を俯瞰した戦略論としての総合計画の策定にあたり、総合計画と個別計画、個別計画間の整合性をどのようにとるのか伺う。

A 総合計画は、各部署から選出の策定プロジェクトチーム委員により素案を作成し、部長等で構成する策定委員会では計画案を検討することで、個別計画との整合性の確保に努めている。さらに、基本計画の各施策のページに個別計画名を明記し、関連性を明確化する。

東街区再開発事業の計画修正等への取り組み

Q 住宅補助や商業規模、駐車台数など課題がある中、市民の利便性と投資効果の高い事業とするため、計画の見直しが必要ではないか。

A 都市計画決定の手続きなどが、一步一步着実に進む現段階では、建物の主要な用途や規模などの大幅な修正はできないものと考え、導入機能は市民ニーズの把握に努め、市民の皆さまに喜んでいただける施設計画となるよう、調査・検討を重ねる予定である。



議会報告会に関するお知らせ

例年、市民の皆さまとの意見交換の場として、ワークショップ形式での「議会報告会」を秋に開催していましたが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、市民の方にお集まりいただく議会報告会は行わないこととしました。

楽しみにされていた皆さまには誠に申し訳ございませんが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

議会の活動

4月

- 7日 各派代表者会議
- 16日 各派代表者会議
- 21日 各派代表者会議
- 27日 各派代表者会議
議会運営委員会
議案説明会

30日 4月臨時会

5月

- 8日 各派代表者会議
議会運営委員会

議案説明（動画配信にて）

15日 5月臨時会

19日 経済建設委員会
（所管事項説明）

20日 福祉教育委員会
（所管事項説明）

21日 総務委員会（所管事項説明）

28日 各派代表者会議

6月

2日 各派代表者会議

議会運営委員会

議案説明（動画配信にて）

9日～24日 6月定例会

9日 各派代表者会議

本会議（議案審議）

議会だより編集委員会

16日～18日 本会議（一般質問）

16日 議会報告会運営会議

17日 各派代表者会議

議会運営委員会

24日 本会議（議案審議）

30日 議会だより編集委員会

9月定例会のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
9/6	7	8	9	10	11	12
		本会議 （議案審議）		常任委員会 （決算審査）		
13	14	15	16	17	18	19
	常任委員会 （決算審査）					
20	21	22	23	24	25	26
			本会議 （一般質問）			
27	28	29	30	10/1	2	3
	本会議 （一般質問）	（一般質問 予備日）		本会議 （議案審議）		

本会議は午後1時、常任委員会は午前10時からの開会予定です。
日程は変更になる場合があります。

スマホでも！タブレットでも！ 市議会ホームページをご覧ください

「議会映像」をクリックすると、市議会の本会議を見ることができます。

「ライブ中継」は本会議の開催日にリアルタイムで、「録画映像」は24時間いつでも見ることができます。（「録画映像」の公開は本会議の約1週間後からです。）



表紙の写真はどこでしょう？

表紙の写真の場所は、どこかわかりますか？

昭和初め頃に、今の県道沿津三島線（旧道）の加屋町周辺を撮影したと考えられます。

伊豆箱根鉄道には、かつて三島六反田（現：三島広小路駅）と沿津駅前を結ぶ路面電車があり、「チンチン電車」とも呼ばれ、市民の足として親しまれていました。

また、表紙の野は三嶋柄と呼ばれる、三島茶碗や三島暦にルーツを持つ文様です。昔の文化や伝統を見直すことで、三島の魅力を再発見できるかもしれません。議会だより編集委員会一同



議会だより編集委員会

委員長：村田 耕一 副委員長：甲斐 幸博 委員：沈 久美、宮下 知朗、藤江 康儀、野村 諒子、河野 月江